

補助事業番号 28-1-043
補助事業名 平成28年度 国際交流の推進活動 補助事業
補助事業者名 一般社団法人日本外交協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

開発途上国に寄贈した日本製中古消防車両等の現地における活用と車両保守管理能力の向上、現地消防隊員の消防技術力を高めるための人材育成支援を行ないます。さらに防災に関する支援を通して、同じ分野で活躍する人々が相互理解を深め、民間レベルでの国際交流を推進することをもって、公益の増進に寄与します。

(2) 実施内容

アルゼンチンにおける防災技術分野の人材育成と国際交流の推進

日本語版ホームページURL (<http://www.spjd.or.jp/wspjd/argentina/>)

西語版ホームページURL (<http://spjd.or.jp/wspjd/es/argentina/>)

アルゼンチン共和国では、2001年末の政府債務不履行以降、貧富及び地域格差が広がっており、ボランティアからなる消防隊にとって、消防機材調達及び専門的人材の強化が困難な状況から、当該国において本事業を実施することに決めました。さらに、アルゼンチンには当協会より計23台の消防車両等を寄贈していたことから、全23州850隊のボランティアで構成されるアルゼンチン義勇消防隊全国評議会より当協会に対し防災技術支援要請があったこと、また評議会では現在、大規模な消防学校建設に取り掛かっており、教育に力を入れていることも考慮し、本事業の対象国として相応しいと考えました。

日本製車両をより効果的に活用してもらうため、また防災力の向上に向けて、義勇消防隊全国評議会との共催で、2017年1月6日～23日にかけて防災技術指導研修を実施しました。日本人技術者・専門家計4名をチャコ州バランケラス、ブエノスアイレス州アルミランテ・ブラウンに派遣し、各地約1週間ずつ、2コースに分かれて、計103名の現地消防隊員に参加いただきました。

コースⅠ「消防技術」では、日本製車両をより安全に効率的に使用できるように、ホースの使用方法確認やそれに付随した放水訓練を行い、また様々な結び方のロープを使用した救助訓練や、建物屋内へ進入しての背負い救助・かかえ救助等の仕方について講師が実演しながら説明しました。コースⅡ「消防車両の構造理解・メンテナンス」においては、日本製車両を安全に長く使用できるように、車両の構造説明や給脂作業、

日常点検・定期メンテナンスの仕方等、講師が一つ一つ丁寧に説明しました。地球の反対側に位置する日本とアルゼンチンの同じ分野で活躍する専門家および研修生がともに取り組み、独自の訓練方法をお互いに紹介しながら相互理解を深め、民間レベルでの国際交流を進めることができました。



コースⅠ 梯子車を利用した救助



コースⅡ ポンプ車構造説明

2 予想される事業実施効果

研修開催地の消防隊から研修生の宿泊についての提供・手配があり、想定した倍以上の計103名の現地消防隊員に参加いただくことができました。研修生のアンケート回答には、「学んだ新しい技術について、今後実際の活動に活かせると思います。今回学んだことを地元にもち帰り、仲間たちと共有したいです。」とあり、今回受講したアルゼンチン国内6州25消防隊からの研修生が、自分の所属する消防隊に本事業で学んだことをもち帰って共有していくものと考えられ、各消防隊での日本製寄贈車両のよりよい活用と保全技術の向上が期待できます。

チャコ州バラケラスの研修期間中には、現地の新聞に本事業のことが掲載され、ブエノスアイレス州アルミランテ・ブラウンでは、地方テレビ局の取材を受けたことから、メディアを通じて市民への防災意識啓発が進むことが予想されます。また、共催団体であるアルゼンチン義勇消防隊全国評議会のホームページに研修の様子が掲載され、当協会ホームページで本事業紹介を和文・西語の両方で載せていることから、本事業の意義や継続の必要性などを広範囲に及んでアピールすることが可能となっています。

消防・防災の情報誌で、毎月3万部発行されている月刊誌『近代消防』に、今回派遣された講師による寄稿文が掲載されたことで、定期購読している全国の消防関係者に与える影響は大きいと考えられ、防災技術分野における国際協力のあり方についての普及啓発ができ、海外援助に対する理解の機運が高まっていくことが期待できます。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

アルゼンチン共和国 (2017年1月)

日本語版ホームページURL (<http://www.spjd.or.jp/wspjd/argentina/>)

西語版ホームページURL (<http://spjd.or.jp/wspjd/es/argentina/>)

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

日本外交協会報 (月報)

会報 アルゼンチン
平成 29 年 2 月 23 日号



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本外交協会

(イッパンシャダンホウジン ニホンガイコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館1階

代表者： 理事長 池浦泰宏 (イケウラ ヤスヒロ)

担当部署： 海外援助事業 (カイガイエンジヨジギョウ)

担当者名： 事務局長 寺田恭子 (テラダ キョウコ)

電話番号： 03-5401-2121

F A X： 03-5401-2124

E - m a i l： kterada@spjd.or.jp

U R L： <http://www.spjd.or.jp/>